

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
幸地 猛	仲里総合グラウンドの整備について	1. ジョギングコース(外周)の整備について 2. 明施設の整備について 3. B&G体育館の改修は終了しているが町民も利用できるか。	町長	1.現在外周の整備計画はございません。担当課としては、体に負担の少ない外周の芝生の管理を行い、ジョギングコースに使用してほしいと思います。 2.ご指摘の通り現在の照明は夜間のスポーツ競技に適した照度が確保されておりません。整備できる補助事業がございましたら計画していきます。 3.10月には屋内の改修工事が完成します。その後は町民も利用できます。
幸地 猛	阿嘉のひげ水について	阿嘉のひげ水を水量を確保して、年中吹き上げが見れる状態を保つことは出来ないものか	町長	阿嘉のひげ水の現状を調査して可能かどうか検討します。
幸地 猛	真謝、下阿嘉間の県道の開通について	真謝、阿嘉間の県道は未開通だがその理由は何か	町長	今回の事業で新設しました橋桁下の一部用地が、未買収用地となっているため、供用開始の許可が下りておりません。そのため未開通となっております。
島袋 完英	下水道の接続について	(1)イーフ地区と仲泊地区の現在の接続状況は、何%か (2)接続を推進のため、補助制度の適用は考えないか	町長	(1)接続率は、平成25年3月末現在でイーフ地区が58.6%、仲泊地区が58.0%です。 (2)以前までは、補助事業での接続は適用外ということで前年度まではありませんでしたが今年度から補助金要綱等の一部を適用し、県内で3町村で初めて補助事業による接続事業を実施しているようです。今後、先進市町村の情報等を早急に収集していきたいと思います。
島袋 完英	字具志川・仲村渠・宇江城・比屋定地区の灌漑施設について	(1)当地区の灌漑方法はどう考えているか (2)仲村渠池の下に更にため池を作る考えはないか (3)宇江城地域でもため池を作るべきだと思うか	町長	ため池の整備については、畑地へのかんがい排水施設の整備と一体で計画する必要があります。当地区からの要望がありましたら検討したいと考えております。
島袋 完英	儀間・嘉手苅地区の下水道施設は、26年度から実施できるか。	どのような施設になるのか、清水、イーフのどちらかに接続か。単独か。	町長	儀間・嘉手苅地区については、平成24年度に変更認可計画において、イーフ浄化センター及び清水浄化センターの位置的条件や維持管理及び処理能力等を検討し、イーフ浄化センターに接続することで事業変更認可を終え、平成26年度～27年度で基本設計及び実施設計を進め、平成28年度から工事を実施する計画です。
島袋 完英	町青年団協議会の現状について	(1)加盟団体の数、会員数 (2)青年団の結成字は、字名で示せ。	教育長	* 加盟団体数・・・9団体(99名) * 結成字 ・真謝(16名)真泊(5名)儀間(16名)謝名堂(12名)比嘉(11名)西銘(9名)真我里・銭田・島尻(11名)仲地(12名)鳥島(7名)
島袋 完英	町婦人会連合会の現状について	(1)加盟団体の数、会員数 (2)婦人会の結成字は、字名で示せ。	教育長	* 加盟団体数・・・3団体(55名) * 個人加盟・・・10名 * 合計・・・65名 * 結成字 ・比嘉(20名)真謝(20名)山里(15名) * 個人加盟 ・仲地(1名)謝名堂(2名)嘉手苅(2名)大田(2名)島尻(1名)宇根(1名)泊(1名)

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>私はこれまで、久米島が幸せになれる阻害要因の一つに鳥島射爆撃場問題を取り上げて来た。町長は見せかけのパフォーマンスはやったが、本気に同射爆撃場の返還行動はなかった。そこで町長に次の5点について伺う。</p> <p>1点目は、私が論拠としている劣化ウラン弾による環境汚染問題等の著者等である矢ヶ崎克馬氏、肥田舜太郎・鎌仲ひとみ氏及び広島県を管轄する中国新聞社を当議会に参考人として招致してもらいたい。町長は「いろいろな段階で協議して必要ならば招致したい」と答弁しているので、是非実現してほしい。</p> <p>2点目は、年1回のがん検診については、「実施する考えはない」と答弁した事について、放射性物質に関し、内部被ばくで微量の放射線でも被ばくする。又、DNAを損傷する。生殖に関わる細胞なら代々、子孫の生殖細胞に傷が受け継れ、何代目かの子孫に障害を発生させる。これがベトカウ効果説に導かれた低線量放射線の内部被ばくの実相という。この事等を認識したうえでのがん検診の否定か。</p> <p>3点目は、「町民大会は時期をみてやりたい」と答弁しているが、その最初の答弁から6年にもなろうとしている。その気はあるのかと疑う。</p> <p>4点目は、鳥島射爆撃場に打ち込まれた劣化ウラン弾でも放射性物質を放出すると、ほんとに理解しているのか。</p> <p>5点目は、「風評被害」の意味は何か。「風評被害」という言葉で鳥島射爆撃場早期返還運動の腰を折るよりも町民一体となって、同運動にエネルギーを使ったら良いと思うがどうか。</p>	町長	<p>1点目については、議会への参考人の出席については、地方自治法第115条の2第2項及び久米島町議会会議規則第119条の規定により議会の権限で行われることになっております。</p> <p>2点目については、文科省の調査結果や毎年行われている定期調査、町単独の調査結果で放射線量値に異常が認められない事及び町民の健康診断の結果など総合的に判断した場合に健康被害は認められないと考えます。しかし、劣化ウラン弾は低濃度の放射性物質であっても放射性物質であることには変わりませんので、町民の健康状態に少しでも異常値等が認められれば、国に対して要請はしたいと思っております。</p> <p>3点目については、今まで町民総決起大会を開催しなかったのは、効果的に実現できるかどうかのタイミングの問題であります。引き続き関係者の意見を聞きながら効果的なタイミングで実施できるよう検討したいと思っております。</p> <p>4点目については、劣化ウラン弾は低濃度の放射性物質であっても放射性物質であることには変わりありませんので、未回収の一部は砂の中に潜っているものもあると思われますので、引き続き環境調査を実施して参りたいと思っております。</p> <p>5点目については、風評被害とは「根拠の不確かな噂やあいまいな情報をきっかけに生ずる経済的損害」を意味するとされています。鳥島射爆撃場及び久米島射爆撃場の返還につきましては、軍転協の最優先要請事項として位置づけられていますので、引き続き県・軍転協と連携しながら積極的に取り組んで参りたいと思っております。</p>
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去とこれに伴う、潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)	<p>先(6月)の定例会で町長は「山が赤くなっているのは、コンクリート護岸だけなのか、誰も理解出来ない」とか「台風の際に一番しぶき飛ばすのはリーフだ」と答弁している。コンクリート護岸から発生する塩害は高潮の時、その害がより大きくなる。コンクリート護岸と塩害の因果関係を裏付ける証拠写真を町長に提示しても否定をする。自然や現場を見ていない証拠だ。久米島の山の木々を枯らし、海を枯らし、農作物等への甚大な被害を与えているコンクリート護岸を放っておけば、町民や町の財政はますます困窮していく事は明白だ。まず、シンリ浜、シン原、畳石や一文字のコンクリート護岸の撤去か、塩害を抑える石積み護岸に造り返える考えはないか。</p>	町長	<p>既存の護岸は高潮、波浪等の災害、海岸浸食対策機能を発揮していると考えております。台風の際の塩害がコンクリート護岸によるものかが明確でないため、撤去を県へ要請するのは厳しい状況にあります。</p> <p>仲里漁港の沖防波堤につきましては県で構造物の安定性を検証しており、結果によっては消波ブロックの設置等も検討されるものと思っております。シンリ浜、シン原、たたみ石については、可能性について情報を収集していきたいと考えております。</p>
宇江原 総清	ソナミー帯の公園化について	<p>ソナミー帯は、涙石や烽火台跡の文化財があり、一昔前は、松林、クロキ、ヤブツバキ等の雑木林であった。景観もすばらしいものがあつた。同地域一帯の復元と駐車場の設置で、文化遺産的な公園にする考えはないか。</p>	町長	<p>一括交付金を活用した安心安全な観光町づくり事業で避難所と兼ねて公園整備を予定していますが、涙石・烽火台周辺の土地のほとんどが私有地となっているため、公園整備にあたっては用地交渉が可能か検討する必要があります。</p>
宇江原 総清	社会福祉について	<p>久米島町は毎年百名ちよつとで減少傾向にある。75歳以上の後期高齢者が増加する一方で、子供や働き手の人口が減少している。これから国は年金額の引き下げ、医療費の負担増等社会保障政策が厳しくなる。そこで、子供や働き手等の人口増が必然となってくる。そのためには、鳥島射爆撃場等の早期返還による経済の活性化(飛行機運賃の低減含む)と自然再生による観光資源等の掘り起こしが喫緊と思うがどうか。</p>	町長	<p>鳥島射爆撃場が返還された場合の経済活性化は、島の沿岸部には環礁が発達しており島全体が巨大なバヤオ的な役割で漁獲高の増やダイビング客の増加等に伴い雇用や経済効果が期待できるものと思われまます。引き続き早期返還に向けて、関係機関と連携しながら積極的に取り組んで参りたいと思っております。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	県の離島航路船舶運航安定事業による渡名喜、久米島航路の久米商船に対するリース船舶買取り支援事業について	(1)事業の実施年度は当初の計画通り、26年度か又は今年度に繰り上げて実施される予定はないか (2)補助内容は、船舶購入金額に対する補助割合があると思うが、県、関係町村、事業者の負担割合はどうなっているか	町長	離島航路運航安定化支援事業によるリース船舶の買取り予定は、平成26年度となっています。補助内容としては、民営航路の場合は国64%、県8%、事業者20%となっています。
棚原 哲也	年々大型化している台風や沖縄でも起こりうる大規模地震、大津波等大規模災害に対応できる防災危機管理体制について問う	(1)災害発生時の避難施設、避難経路等の確保、又備蓄物資(食糧、飲料水、医薬品)等の確保も十分なされているか。 (2)町民や島外からの来島者(観光客)等の生命、財産を守る為、民間の事業者の施設や資機材の使用等に係る協定締結等、実効性のある防災、減災体制を整える必要があると思うがどう思うか。	町長	1点目については、平成23年11月に発生しました東日本大震災を受けて、久米島町でも地域防災計画を今年7月に修正しました。その計画にもとづき避難施設の指定及び備蓄等の確保は行っています。避難経路等につきましては地域の意見を聞きながら、避難誘導標識、海抜表示及び防災マップを作成しているところです。 2点目の、資機材の使用につきましては、久米島町建設業協会と災害時における災害応援に関する協定書を締結しています。また、津波浸水予測区域内の地域住民や観光客が一時的に高所に緊急避難するための津波避難ビルの指定については検討しているところです。
玉城 安雄	沖縄県議会議員選挙区の変更について(島尻郡区より那覇市区へ)	24年3月議会において質問した際、公職選挙法により選挙区は郡市の区域により定められているが、飛び地の場合地勢及び交通上これに類似する状況にあると認められる場合、2以上の衆議院小選挙区に分かれている場合、例外規定が認められていると答弁している、また選挙区の変更については不可能ではなく、非常に可能性があるとも答弁している。南部周辺離島は経済圏、教育行政すべて那覇市圏内であることから可能であると考えられる。町長に伺います。24年3月議会での提案以後周辺離島の首長、議長、県議のみなさんと意見交換をしたことはあるのか、その反応は、また今後の取り組みについてどのように考えているか伺う。	町長	選挙区の変更につきましては、3~4年前から南部周辺離島の首長と継続して意見交換をしているところですが、あまり関心を示してくれません。県議との意見交換では、選挙区の変更についての可能性はあるということでしたので、南部周辺離島の首長とは引き続き意見交換の場を設けて積極的に取り組んで参りたいと思います。
玉城 安雄	病児保育、病後児保育等、子育て支援について	この取り組みには、病児保育事業と病後児保育事業2つの制度があると聞く。病児保育は医師が常駐している施設などで、病気の急性期にある子供を一時的に預かるというもので、一方病後児保育は病気の回復期にある子供を一時的に預かるというものです。少子高齢化の現代において、親が最も困難を感じるのは子供の病気の時だと思います。全国的には保育所に通っている子供が保育所で熱をだしたり体調不良になった時、親が迎えに来るまでの対応といった事から、病院に併設された病児保育施設などで子供を預かるという多様な取り組みがなされています。男女共同参画社会のニーズを満たすには、このような子供を預かる施設の充実が望まれますが、本町において病児、病後児保育についてどのように考えるか、夫婦共働き家庭の一般化、家庭や地域の子育て機能の低下など、家庭や地域を取り巻く環境が変化してきている中で、安心して子育てできる環境作りが必要だと思うがどうか。	町長	病児保育や病後児保育については、沖縄県の設置施設の状況が小児科医院などの医療機関併設13施設、児童福祉施設に1施設、保育所に1施設で計15施設あります。久米島町においても核家族化が進んでいることや近くに子供を見られる親族がいらないなどの状況が増えていると思われまますので、病児保育、病後児保育に対するニーズは増してくるものと考えます。子育ての課題への対策として病児保育、病後児保育について関係機関と協議し施設設置が可能か検討したいと考えています。
仲村 昌慧	県議会議員の選挙区について	昨年の3月定例会で、同僚議員の選挙区の変更についての質問に対して、町長は「非常に可能性はあると思う。引き続き積極的に取り組んでいきたい。」と答弁しているが、その後どのような取り組みをしたか伺う。	町長	引き続き、南部周辺離島の首長及び県議と選挙区の変更について意見交換を行っているところです。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	教育行政について	現在久米島の小・中学校は、那覇教育事務所管轄に所属しているが、行政区が島尻地区であるため教科書は島尻教育事務所管内の教科書を使用している。これは変則的で不都合であり、改善すべきでないか。教育長に見解を伺う。	教育長	那覇教育事務所管内にありながら、4年ごとに審議決定され使用される教科書が那覇・浦添で使用される教科書と異なり、児童・生徒の転校、また教職員の異動、研修等において支障がある状況にありますので、沖縄県教育委員会に是正に向け要望しています。
仲村 昌慧	公園について	カンジダム周辺が公園化され、遊歩道等が整備されて数年経過しているが、周辺はフェンスで囲み、鍵をかけている状態である。公園を開放しない理由は何か。今後開放する考えはあるか伺う。	町長	生態系の安定を図るには一定期間開放しないほうが良いとの提言があり開放しておりませんが、今後、開放に向けて調整していきます。